

《履修上の留意事項》【遠隔授業のみ実施】

《担当者名》○伊藤 加奈子 高橋 啓太 唐津 ふさ 熊谷 歌織 神田 直樹 高木 由希 前川 真湖
清水 博美 秋野 愛菜

【概 要】

既習の理論や方法をもとに、成人期の健康問題をもつ人へ必要な看護援助を実践的に学習することを目標とし、ロールプレイや技術演習を通して看護のあり方を検討する。

【学習目標】

1. 既習の理論や方法をもとに、成人期の健康問題をもつ対象者へ看護を提供するために必要となる看護援助を考え実施できる。
2. 事例をもとに対象者の状態をアセスメントし、対象者にあった看護援助を考え実施できる。
3. 実施した看護援助を振り返り、対象者の反応や行動から評価できる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1) 2	成人看護学演習概要 セルフマネジメント支援	演習目標、全体構成、進め方についてのガイダンス。 講義：糖尿病の療養法、セルフマネジメント支援について学ぶ。	伊藤
3) 4	術後回復期に必要な技術	講義：手術を受ける患者の術後回復を促進するために必要な知識、観察、看護援助について学ぶ。	高橋
5) 6	術後回復期に必要な技術	講義：術後患者の身体モニタリングに必要な技術と、術後のアセスメントに必要な視点を学ぶ。	高橋
7) 8	術後回復期に必要な技術	講義：術後患者の身体モニタリングとアセスメント、術後合併症を回避するために必要な援助を導く思考過程を学ぶ。	高橋
9) 10	術後回復期に必要な技術	講義：術後回復を促進するためのケアの視点を学ぶ。早期離床の意義と離床を促すために必要な観察、注意点、看護援助について学ぶ。	高橋
11	セルフマネジメント支援	講義：糖尿病患者に対するアセスメントの視点と、セルフマネジメント支援のための看護援助について学ぶ。	伊藤
12) 13	セルフマネジメント支援	演習：オンライン上でのグループワークを通し、糖尿病患者における身体状況と療養生活に関するアセスメントの視点を学び、援助を検討する。	伊藤・高橋 唐津・熊谷 神田・高木 前川・清水 秋野
14) 15	セルフマネジメント支援	演習：オンライン上でのグループワークを通し、患者教育に必要な視点・内容・方法について検討し、具体的な患者教育の方法について学ぶ。	伊藤・高橋 唐津・熊谷 神田・高木 前川・清水 秋野

【評価方法】

演習課題30% 定期試験70%
→演習課題60%、レポート40%

【備 考】

教科書：1. 糖尿病治療の手引き 改訂第57版 日本糖尿病協会・南江堂
2. 吉田みつ子・本庄恵子監修 新訂版 写真でわかる 基礎看護技術1アドバンス インターメディカ

- | | | | | |
|------------------|-----|--------|--------------|----------|
| 3 . 本庄恵子・吉田みつ子監修 | 新訂版 | 写真でわかる | 臨床看護技術1アドバンス | インターメディカ |
| 4 . 本庄恵子・吉田みつ子監修 | 新訂版 | 写真でわかる | 臨床看護技術2アドバンス | インターメディカ |

参考書 : 講義の中で提示する

【学習の準備】

- ・演習内容に関連する、成人看護各論 「糖尿病患者の看護」、成人看護各論 「術後の看護」、看護技術各論、看護技術演習の内容を復習する(30分)。
- ・演習前に提示される事前課題、演習後課題を作成する(各30分)。
- ・指定された視聴覚教材を視聴し、演習の準備を行う(30分)

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

D P 2 , 3 , 4

【実務経験】

伊藤 加奈子(看護師), 高橋 啓太(看護師), 唐津 ふさ(看護師), 熊谷 歌織(看護師), 神田 直樹(看護師), 高木 由希(看護師), 前川 真湖(看護師), 清水 博美(看護師), 秋野 愛菜(看護師)

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での看護師としての実務経験を通じて得た知識・技術・態度等を活用し、実践的な看護援助について教育を行う。